

各 位

浦安鐵鋼団地協同組合  
景況実感調査委員会

浦安鐵鋼団地景況実感調査結果表  
(2023年6月分)

ご協力ありがとうございました。2023年6月分の結果をお送りいたします。よろしくご査収ください。

調査対象 143社 回答 138社 回答率 96.5%

調査項目	前 月 比						前 年 同 月 比					
	10%以上 増加・上 昇・好況	やや 増加・上 昇・好況	横這い ・平常	やや 減少・下 降・不況	10%以上 減少・下 降・不況	計	10%以上 増加・上 昇・好況	やや 増加・上 昇・好況	横這い ・平常	やや 減少・下 降・不況	10%以上 減少・下 降・不況	計
売上数量	26社 19.0% (2.2)	35社 25.5% (10.2)	47社 34.3% (39.4)	25社 18.2% (29.2)	4社 2.9% (19.0)	137社	13社 9.6% (17.0)	17社 12.5% (11.1)	50社 36.8% (33.3)	34社 25.0% (25.9)	22社 16.2% (12.6)	136社
売上高	30社 21.9% (1.5)	33社 24.1% (10.9)	49社 35.8% (35.8)	20社 14.6% (34.3)	5社 3.6% (17.5)	137社	23社 16.9% (20.7)	27社 19.9% (17.8)	40社 29.4% (31.9)	32社 23.5% (20.0)	14社 10.3% (9.6)	136社
在庫数量	2社 1.5% (5.3)	19社 14.5% (13.6)	77社 58.8% (59.1)	30社 22.9% (18.9)	3社 2.3% (3.0)	131社	9社 7.0% (10.1)	21社 16.3% (17.8)	60社 46.5% (41.9)	22社 17.1% (19.4)	17社 13.2% (10.9)	129社
販売単価	0社 0.0% (0.7)	9社 6.6% (3.7)	110社 80.9% (86.0)	16社 11.8% (8.8)	1社 0.7% (0.7)	136社	26社 19.3% (18.5)	40社 29.6% (39.3)	49社 36.3% (28.1)	16社 11.9% (11.1)	4社 3.0% (3.0)	135社
収益状況 (粗利)	17社 12.4% (2.2)	30社 21.9% (8.8)	60社 43.8% (48.9)	26社 19.0% (26.3)	4社 2.9% (13.9)	137社	9社 6.6% (8.1)	24社 17.6% (16.2)	48社 35.3% (35.3)	33社 24.3% (24.3)	22社 16.2% (16.2)	136社
稼働率 (生産・ 加工設備)	10社 8.5% (0.0)	20社 16.9% (8.5)	64社 54.2% (50.4)	21社 17.8% (29.9)	3社 2.5% (11.1)	118社	5社 4.3% (4.3)	20社 17.1% (13.8)	57社 48.7% (47.4)	27社 23.1% (25.9)	8社 6.8% (8.6)	117社
入出庫の トラック台数	10社 7.7% (0.8)	24社 18.5% (8.3)	67社 51.5% (50.0)	26社 20.0% (30.3)	3社 2.3% (10.6)	130社	3社 2.3% (3.8)	23社 17.8% (10.7)	66社 51.2% (51.1)	30社 23.3% (26.7)	7社 5.4% (7.6)	129社
	現在の景況感						3ヶ月後の景況予測					
	0社 0.0% (0.0)	10社 7.4% (1.5)	65社 48.1% (43.6)	44社 32.6% (40.6)	16社 11.9% (14.3)	135社	0社 0.0% (0.0)	19社 14.2% (13.1)	91社 67.9% (76.2)	21社 15.7% (10.0)	3社 2.2% (0.8)	134社
特記事項												

- 注 ①調査対象会社数は浦安に事業所の無い会社（不在地主など）は除外してあります  
 ②( )内の数字は前月のパーセントです  
 ③結果表は全品種の動向として集計し、品種別の要因を取り上げる必要がある場合は  
 特記事項欄に別途記載いたします  
 ④本調査の宛先等の変更は、浦安鐵鋼団地協同組合事務局までご連絡ください  
 事務局 TEL : 047-350-5311 FAX : 047-350-5316

## 景況実感調査(2023年6月)特記事項

毎月、景況実感調査にご協力頂きましてありがとうございます。集計結果は別紙にてお送りしましたが、今月もたくさんコメントを頂きましたのでお送りします。ご査収下さい。

[お断り]毎月のコメントはあくまで個々の“生の声”です。業界全体の標準的見解とは、若干異なる場合もあります。また、不適当な表現やわかりにくい表現については書き直しております。信用問題にかかわるものも原則として掲載しておりません。

### 薄板・表面処理鋼板

- ① 稼働日が増えた分だけ売上を維持できた状況。荷動きは弱く、価格も一段階下がっている。7月に好転の兆しはなく、我慢が続きそうだ。
- ② 需要動向は低位安定といった感じ。日割り販売量はここ数カ月変わりなし。市況は安価な輸入材に引きずられ、さらに電炉メーカーが大幅値下げしたことで、値下げ圧力がさらに強くなっている。
- ③ 6月は稼働日が多いので増加したが、日割りとしては減少した。半導体不足で生産が追い付かなく受注残を抱えながら調整していたが、半導体の影響が解消されてもなかなか需要が回復しないところを見ると、世界経済の鈍化が深刻であるように感じる。
- ④ 6月は22日の稼働日数があり、売上面でも期待していたが、思ったほど受注量がなく、7~8月も良い話が少なく、客先の動向をしっかりと見て努力するしかない。
- ⑤ 各メーカー、商社からの売り腰が強いが、在庫や販売予測に鑑み冷静にジャッジしている。安くても買わず、在庫圧縮を優先している。荷動きはパッとしないが、悪いなりに数字は作れているので、売り負けしないよう営業している。

### 中板

- ① 東京製鐵の値下げ発表後、じりじりと販売単価が下がっている。実需が乏しい環境であり、客先は当面、当用買いに徹するスタイルに変わってきている。何とか現在の販売単価を維持したいが、先行き不透明であり、続落局面が続くと思われる。
- ② 建機は好調。トラックも徐々に増えてきているが、それ以上に建築向けの仕事が落ちており数量的に苦戦している。
- ③ 昨年夏以来、需要の低迷が続いただけに、肌感覚ではぱっとしない感じが続けているものの、ここに来てひと月終わって数字を見ると、量的には前年同月をわずかながら上回り始めており、下期以降の動きに期待が持てる。自動車関連で半導体等の目途がついてきたことが一つの要因であるが、今後は現業での人手不足が深刻な課題となっているようで、そうした課題も乗り越え、本格的な挽回生産に期待する。一方、販売面での収益状況は、これまでの仕入コイルの価格上昇を転嫁できず、粗利は落ち込んだ状態となっており、国内高炉の方針転換の協力を切にお願いするところである。

## 厚板

- ① <全体感>厚板を扱う各分野においては総じて低調。好調といわれた建産機も弱含みへ下方修正。首都圏の建材案件は大型再開発で動きはあるものの、人手不足や残業制限が図面承認の遅れや鉄骨ファブの生産に影響を与えており工期遅れが目立ち、中小物件は依然として低迷。<分野別>建機分野では、23年度は前年度比で同水準か若干弱含みの期初計画であったが、下方修正する動きも出て来ている。産機分野は工作機械受注額が5ヵ月連続で前年割れしており、米国や中国など外需を中心に先行きは不透明。店売り分野は、一部電炉メーカーの大幅値下げの影響で市況が下がれば、流通加工各社の収益確保が一段と難しくなる。
- ② 当社の建築機械向けは依然として好調を維持している。店売り関連は、鋼材の高騰、人手不足による案件の延期・中止もあり、売上が伸びてこない。
- ③ 東鐵の厚板大幅値下げで市中は混乱している。ユーザーに先安感がはびこり、物件の出が極めて悪くなっている。東鐵の値下げの影響で今後も厚板の荷動きは劇的に落ち込むであろう。リーマンショック再来のようだ。

## 一般開金鋼

- ① 販売減によって市況軟化傾向にある。8月の盆休みを控えて営業対策上、市況軟化傾向に拍車が掛かっているのではないかと、この数ヵ月間の需要減退と変化に着目している。
- ② 現場は出てきたが職人さんがいない。人材確保が問題。

## HI開金鋼

- ① 端境期であるにもかかわらず、メーカー価格(板系)の値下げにより、業界全体の雰囲気が悪くなっている。客先、ユーザーは当用買いに徹している。

## 異形棒鋼

- ① 物件は少ない。荷動き不振。メーカー不調で市場は膠着状態にある。数量は期待できないので、取引の中身で頑張るしかない。
- ② 相変わらず動きは悪い状況。市況も弱含みであるが、現行値を堅持したい。
- ③ 置場売りは変わらず細かいが、稼働日も22日あったので6月は、それなりに動きはあった。価格は横這っている。
- ④ 店売りはかなり低調になってしまっている。回復の兆しもなく、先行き不透明であるが、秋には出て来る予想もあるので期待している。

## 平金鋼

- ① 6月の店売りは5月と同様で変わらず悪い(稼働日数分はプラス)。とくに東鐵の発表後はさらに落ち込んでいる。建築案件は、中小案件は端境期で少ないが、再開発案件等がまだ動いているので忙しい。土木も端境期で、今後期待。
- ② 6月は稼働日分の増加。東鐵の発表後、値上げの雰囲気が消えてしまった。荷動きは変わらず低調。秋口以降の建築物件に期待している。

## 車量開金鋼

- ① 閑散期継続。受注状況は悪化が継続。先はまだ見通せない。

## 鋼管

- ① 配管ガス住設業界は、一般的に1Q(4~6月)は不需要期であるが、特に6月の引合いが弱い。7~8月の学校・ビル関係の需要本格化に期待したい。
- ② 5月が最低水準だったので6月は増加に転じたが、2カ月でみれば前年を下回っている。

## 構造用鋼

- ① 需要については、自動車はメーカーによって濃淡があるが、徐々に回復が見込まれている。建機は変わらず底堅く推移している。工作機械・産機は、調整局面が続いている。店売りは低調な状態が続いている。在庫については、やや多めの状況。価格はタイト感がないため、まとまった案件では一部安値も聞かれる。ただ、総じては採算重視の販売で当面は横這いと予想する。

## 磨棒鋼

- ① 自動車向け紐付き品は、一部物件に回復の兆しが見られるものの、全体的にはまだ大きな動きはない。建機、産機とも現状維持で変わらず。店売り品も勢いはなく、低位で推移中。加工賃是正は一部紐付き品で了承いただくものも出てきた。今後は店売り品にも展開していく。

## 鋼材全般

- ① 東京製鐵7月積み異形丸▲@5、鋼板類▲@7~@12の値下げ発表が引き金となって、今後、全品種が値下げ基調の展開となると予想する。

## その他

### <鉄スクラップ>

- ① 引き続き荷動きは低調。市況は堅調様子見。市況はマイナス要因が多いが、極端なスクラップ発生の減少が下支えしている状況。想定外なことが無い限り7月、8月もこのような状況が続くそう。

### <金属表面処理>

- ① 紐付き、スポットとも6月は5月と横ばいだった。これからは気温が更に高くなるので熱中症にならないよう現場に配慮しながら作業していく。